

第14回伊那地域定住自立圏共生ビジョン協議会 会議録

開催日	令和4年7月14日(木)			
開催時間	開 会	午前10時00分	閉 会	午前11時30分
開催場所	伊那市役所 多目的ホール			
委員出席者	伊那市区長会 箕輪町区長会 南箕輪村区長会 伊那中央行政組合 南箕輪村商工会 上伊那農業協同組合 上伊那森林組合 伊那バス(株) ジェイアールバス関東(株)中央道支店 (有)白川タクシー 長野県宅地建物取引業協会南信支部 伊那市観光協会 NPO法人子ども・若者サポートはみんぐ 伊那市保育園保護者連合会 上伊那PTA連合会	中山 昭 唐澤 映司 山崎 文直 宮原 文彰 小松 豊 辰ノ口 忠央 富山 裕一 福澤 信義 太田 治彦 白川 光朗 大村 裕一 伊藤 隆博 戸枝 智子 東 俊太郎 春日 一弘		
欠席者	伊那市社会福祉協議会 伊那商工会議所 箕輪町商工会 信州大学 公募	矢澤 秀樹 小林 句子 白鳥 公夫 鈴木 純 竹口 実咲		
委員以外の出席者	アドバイザー	鳥羽 秀行 (上伊那地域振興局企画振興課長)		
出席した事務局職員	伊那市企画部地域創造課長 箕輪町企画振興課長 南箕輪村地域づくり推進係長 伊那市総務部総務課長 伊那市総務部秘書広報課長 伊那市企画部企画政策課長 伊那市保健福祉部子育て支援課長 伊那市福祉部福祉相談課相談支援係 伊那市商工振興部産業立地推進課長 南箕輪村地域づくり推進課企画係長 伊那市企画部地域創造課人口増推進係長 伊那市企画部地域創造課人口増推進係 伊那市企画部地域創造課人口増推進係 箕輪町企画振興課まちづくり政策係長	田中 久 唐澤 勝浩 高橋 里江 福澤 清 泉澤 正広 三澤 豊 北原 静香 宮下 久美子 平澤 浩 平澤 祥二 唐澤 雅也 田尻 勇木 青樹 万由子 小野 文久		

議 事	(1) 定住自立圏共生ビジョン令和 3 年度の取組及び令和 4 年度の実施計画について (2) 定住自立圏共生ビジョンの改訂について (3) その他
配布資料	資料 1 第 2 期伊那地域定住自立圏共生ビジョン 令和 3 年度実績及び令和 4 年度実施計画 別紙 1 令和 3 年度産業振興事業実績 別紙 2 - 1 令和 3 年度 福祉部会の状況について 別紙 2 - 2 令和 3 年度「病児・病後児保育施設」「子育て支援センター」利用実績 別紙 3 - 1 令和 3 年度 地域公共交通部会の状況について 別紙 3 - 2 令和 3 年度 定住自立圏バス路線等 利用実績 別紙 4 令和 3 年度 情報インフラ部会の状況について 別紙 5 - 1 令和 3 年度 移住定住・地域振興部会の状況について 別紙 5 - 2 令和 3 年度 空き家バンク利用実績 別紙 6 令和 3 年度 合同研修実績 資料 2 第 2 期伊那地域定住自立圏共生ビジョン改定案

1 開会

2 会長あいさつ

定住自立圏共生ビジョン協議会は今年度初めての開催となる。

本日は、共生ビジョン令和 3 年度実績報告や、令和 4 年度の実施計画の報告を予定している。

また、共生ビジョンの改訂についても協議いただくことを予定している。

3 市町村の住民の皆さんが住みやすい地域となるよう活発な議論お願いするとともに、円滑な議事の進行にご協力をお願いしたい。

3 会議事項（進行：中山会長）

(1) 定住自立圏共生ビジョン令和 3 年度の取組及び令和 4 年度の実施計画について

会 長： 事務局から説明をお願いします。

事務局： （別紙 1～別紙 6 により説明）

会 長： 説明内容について、御意見、御質問等はあるか。

(2) 第 2 期伊那地域定住自立圏共生ビジョン改定案について

会 長： 事務局から説明をお願いします。

事務局： （資料 2 により説明）

会 長： 説明内容について、御意見、御質問等はあるか。

委 員： ドアツードアの関係で、期待される効果として一般タクシーの利用効果がタクシー事業者の経営支援に繋がるという内容があるが、過去、行政の文章を見てきても、こういった例はなかった。タクシー業界にも確認したところ、ほとんどないとのことで、

画期的な文章であると感じた。

タクシー事業は公共事業と言われながらも、個人の移動を助ける兼ね合いもあり、都合のいい時には民間企業や営利企業、片一方では公共事業という矛盾した立ち位置に
いる中で、今回支援の対象となるという画期的な内容であり、非常に感謝している。
期待に応えられるように頑張っていきたい。

今回事業の追加ということで AI 乗り合いタクシーと、8月に予定されているデジタル
タクシーについて、資料に記載はあるが、内容は似て非なるものという認識でやっ
てもらいたい。

少なくとも事業者の視点では AI 乗り合いタクシーについては、地域間格差の解消、
どこに住んでいても同じサービスを受けられる、移動にかかる費用が同じ、多大な労
力と時間を持って中心市街地に出なければならない高齢者たちの補助という形で、始
めている。これはモバイルクリニックと内容がほぼ似通っている状況のため、一つの
支援という形になると思うが、中心市街地に向けてのデジタルタクシーについては、
タクシーメーター利用をして利用者が使った分を、ぐるっとタクシーと同じような基
準の料金の差額を市に負担してもらおうという形になっている。AI 乗り合いタクシー
は借り上げであるため、暇な時も確保していなければならない、事業者の負担になっ
ているところがあったが、今回のパターンのように、個々の対応でメーターに応じた支
援であれば、車の動かし方に非常に自由度が与えられる。

システムについても難しいシステムを使っているわけではないので、南箕輪村や箕輪
町でも行うには都合のいいシステムではないかと思う。実験の結果については期待し
てもらいたい。

事務局： 取り組みそのものが交通事業者と連携していかなければならないもの。連携しながら
取り組んでいく。

委員： 子育て分野について、現在 50 歳の年齢の人口が 1008 人になるところ、20 歳の人口
は 601 人、10 歳については 573 人、1 歳については 463 人、0 歳児に至っては 362
人という状態になっている。20 歳については 4 割減、10 歳についても 45%、0 歳児
に至っては 75%減ということを別の機会で知った。かなり危機的な状況である。早
急に手立てが必要な状況で、このような危機意識を関係者間で共有しつつ、なにか連
携できることはないか考えてもらいたい。

高齢者の支援を充実させる予算があるのなら、別の所から予算を活用して、より、こ
れから生まれてくる子ども達のための予算を拡充すべきではないかと思い、状況と提
案をさせてもらった。

事務局： コロナの影響もあり、出生数は驚くほど減少している。出生から 18 歳になるまでの
切れ目のない支援を行い、「子育てしやすいまち」だと思ってもらえるような事業を
行っていきたい。

(3) その他

特になし

5 その他

アドバイザー： 定住自立圏の制度上、中心市である伊那市を中心として3つの市町村で様々な取り組みを定住自立圏の枠組みの中で実施してもらっている。内容は多岐にわたり、自分自身にとっても勉強になった。ビジョンの改訂についても検討にあった通り、コロナも含めて社会が大きく変化していく中で AI 技術や XR 技術を含めて新しい潮流も出てきている。それらを活用しながら時代に合った取り組みを常に見直していってほしい。

こういったビジョンや計画は机を作って終わりになることもありがちなため、検証や実証を行い、政策等についての議論を、地域で活躍される皆様と考えていくこのような場は貴重な機会だと思う。人口減少等進む中で三市町村が役割分担しながら、あるいは連携しながら、地域で活躍する関係者達と共に圏域全体で安心安全な地域づくり、あるいは魅力ある地域づくりを進めてほしい。

6 閉 会